

解熱鎮痛薬
頭痛・生理痛・歯痛

ツシチン錠D

ツシチン錠Dは非ピリン系解熱鎮痛成分のアセトアミノフェンとエテンザミドにその効果を高める無水カフェインを配合し、すぐれた解熱鎮痛効果をあらわします。
また、眠くなる成分を配合していませんので仕事中でも安心して服用していただけます。



使用上の注意

してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。

(1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人

(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用時は飲酒しないで下さい。

4. 長期連用しないで下さい。

相談すること



1. 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい。

(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人

(2)妊婦又は妊娠していると思われる人

(3)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15才未満)

(4)高齢者

(5)本人又は家族がアレルギー体質の人

(6)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人

(7)次の診断を受けた人

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談して下さい。

(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	悪心・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさとともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群(ステvens・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死症(ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
ぜんそく	

(2)5～6回服用しても症状がよくならない場合

効能・効果

- (1)頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
(2)悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
15才以上(大人)	2 錠	2回を限度と する
7才以上15才未満	1 錠	
7才未満	服用しないこと	

なるべく空腹時をさけて服用して下さい。服用間隔は6時間以上おいて下さい。

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守して下さい。
(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい。
(3)錠剤の取り出し方
右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押して、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。
(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



成分と作用 1日量(4錠)中

成 分	分量	作 用
アセトアミノフェン	600mg	鎮痛作用と解熱作用があります。
エテンザミド	900mg	鎮痛作用と解熱作用があります。
無水カフェイン	70mg	気分をそう快にするほか、頭痛をやわらげます。

添加物としてタルク、セルロース、クロスカルメロースNa、ステアリン酸Mgを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
(2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
(3)他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
(4)表示の期限を過ぎた製品は服用しないで下さい。

お問い合わせ先

中新薬業株式会社 営業部

電 話 (076)475-2121 受付時間 8:10~16:40(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構

<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>

電話:0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元



中新薬業株式会社

富山県滑川市上小泉504-2

販売元



大協薬品工業株式会社

富山市水橋島等173